

取扱説明書

照明制御コントローラ用 設定/操作兼用リモコン

FSK90941U

本編



はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
適合コントローラについて	3
リモコンの操作範囲について	3
システムの構成	4
リモコンの準備	6
各部のなまえとはたらき	6

操作のしかた

各運転のしかた	8
運転状態の確認をおこなう	9

基本設定

必ずおこなってください	
照明器具の施工から	
ご使用までの流れ	11
信号配線の確認をおこなう	12
① 照明器具の起動方式の	
設定をおこなう	12
② 明るさの設定をおこなう	14

応用設定

オプション	
自動運転の詳細設定	16
シーン運転の設定	20
カスタムファンクション	
その他の設定	24

こんなときには

Q & A	30
故障かな?と思ったら	32

その他のお知らせ

コントローラの仕様	35
各起動方式の調光範囲について	36
お手入れについて	36

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

この製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項と取り扱いかたを示しています。必ずお読みになってから、製品をお使いください。

はじめに

絵表示について

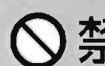
注意事項には、内容を示す絵表示が付けられています。それら絵表示の意味は以下のとおりです。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

その他の表示と具体的な例



禁止 「禁止」(しないでください)を示します。

[乾電池について]



注意



禁止

ショートさせたり、火中に投入しない。

発熱・破裂によるけがの原因になります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しない。

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがの原因になります。

万一、液もれしたときは・・・

- 液が手や衣服に付着した時は、水でよく洗い流してください。
- 目に入った時は失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



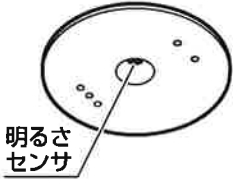
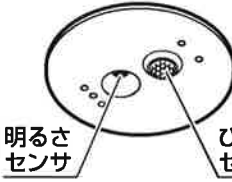
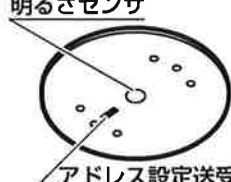
使用上のご注意

- ・分解したり、修理、改造をしない。また、落としたり、水をかけたりしない。故障や破損の原因になります。
- ・リモコンを長時間使用しない場合や、乾電池を使い切ったときは、乾電池をリモコンから取り出す。
長時間放置すると、電池が液もれを起こす場合があります。
- ・リモコンの液晶表示がうすくなり操作がしにくくなったときは、お早めに乾電池を交換してください。
- ・コントローラとリモコンとの間に信号をさえぎるものがあると動作しません。
- ・送受信部が極端にランプに近すぎる場合や、太陽光などの赤外線を多く含む光を直接入射する場合、または周囲温度が低い場合は、動作しにくいことがあります。

適合コントローラについて

※LED表示については
P35をご参照ください。

■ コントローラの適合照明器具(起動方式)については、コントローラ添付の施工説明書をご参照ください。

制御タイプ	明るさセンサ 連続調光 Aタイプ	ひと明るさセンサ 連続調光 ANタイプ	画像センサ 個別ひと制御連続調光 iタイプ	フル2線式リモコン 調光T/U付照度センサ
				
対応機種・コントローラ品番	セパレート セルコン36		セパレート i-セルコン	—
	FSK90521 FSK90521K FSK90721K FSK90721Z FSK90771K FSK90771Z FSX90521 FSX90721 FSX90771	FSK90531 FSK90531K FSK90531Z FSK90731K FSK90731Z FSK90731C FSK90781K FSK90781Z FSX90531 FSX90731 FSX90781	FSK90740 NQ51141 ※設定の詳細はコントローラ添付 の取扱説明書をご参照ください	WRT3617 WRT3617K

<旧型コントローラ品番>

対応機種・品番	セパレート セルコン70		セパレート セルコン36		
	FSK90552 FSK90552K	NHS02990F NHS02995F	FSK90520 FSK90520K FSK90520P	FSK90720 FSK90720K FSK90720P	FSK90770 FSK90770P
	セパレート セルコン25		LONWORKS® 対応 センサ付調光制御ユニット		
	FSK90530 FSK90530K FSK90530P	FSK90730 FSK90730K FSK90730P	FSK90780 FSK90780P	FSX99720 FSX99730	
	LONWORKS®は、米国エシェロン社(Echelon Corporation)の登録商標です。				

※旧型コントローラと組み合わせの際は、別冊「旧型コントローラとの組合せ編」をご覧ください。

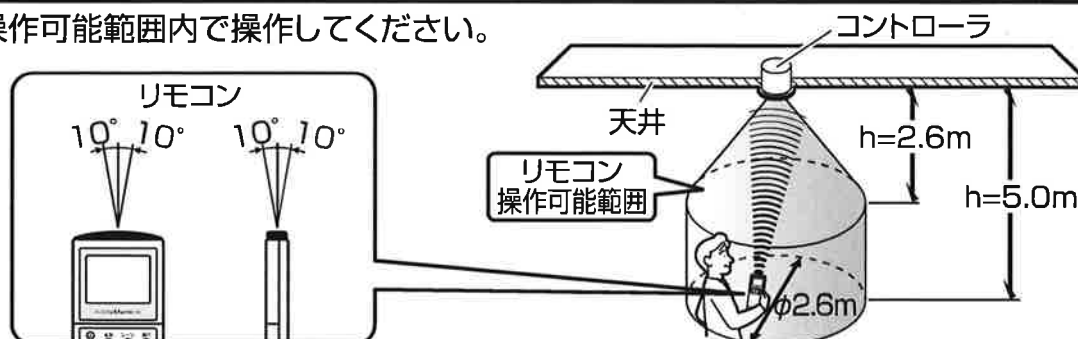
おそれ入りますが、別冊の閲覧・ダウンロードは以下のURLよりお願いします。

<http://dolphin.va.panasonic.co.jp/lighting/IWSearch>

品番欄に **FSK90941U** と入力、「取扱説明書」にチェックを入れ、「一括検索」ボタンをクリックし、所定の方法でダウンロードしてください。

リモコンの操作範囲について

リモコン操作可能範囲内で操作してください。

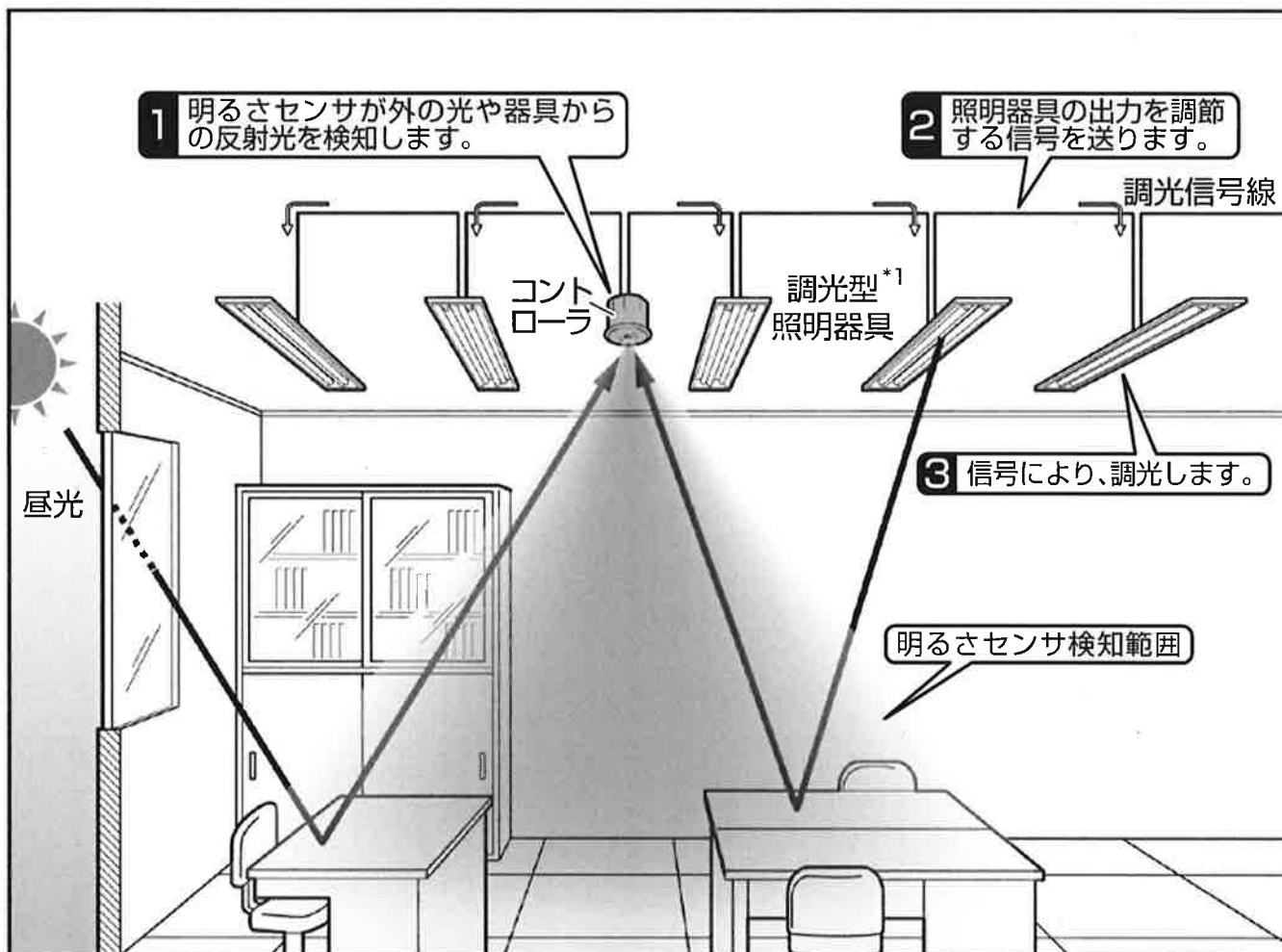


システムの構成

■明るさセンサ連続調光(Aタイプ)の場合

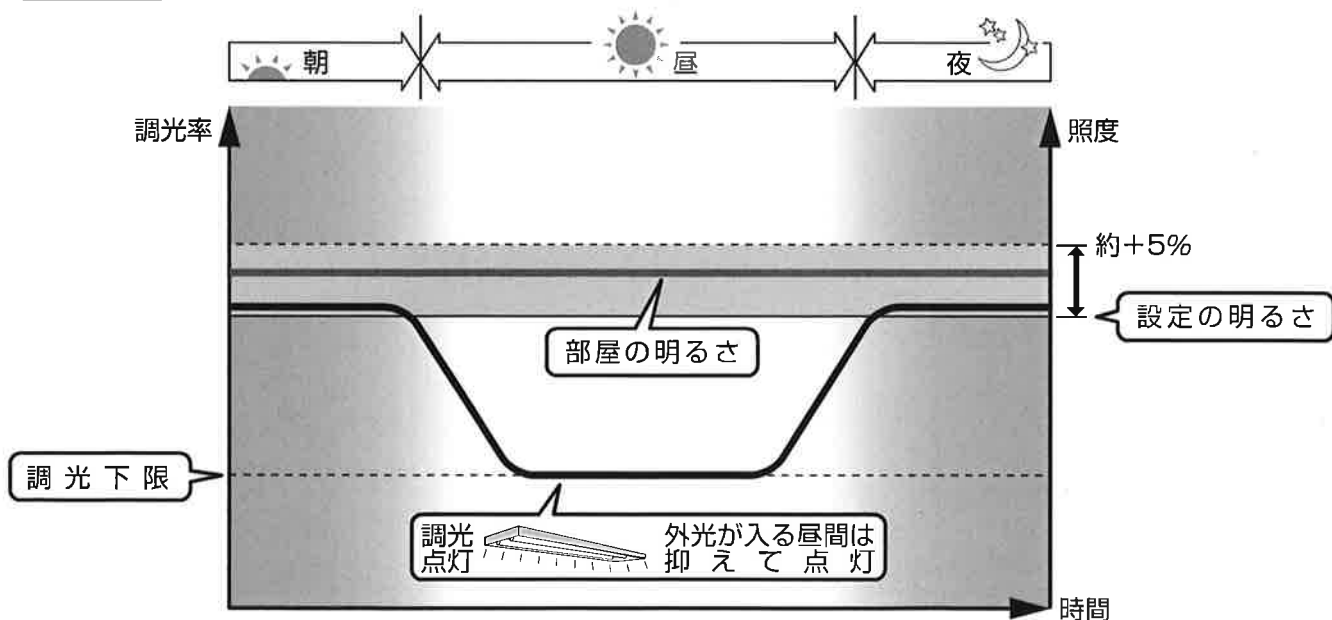
窓の外からの光量も検知して、室内が一定の明るさになるよう照明器具をコントロールします。

はじめに



注)*1 必ず弊社製の照明器具をご使用ください。
適合する起動方式については、P36をご参照ください。

基本動作

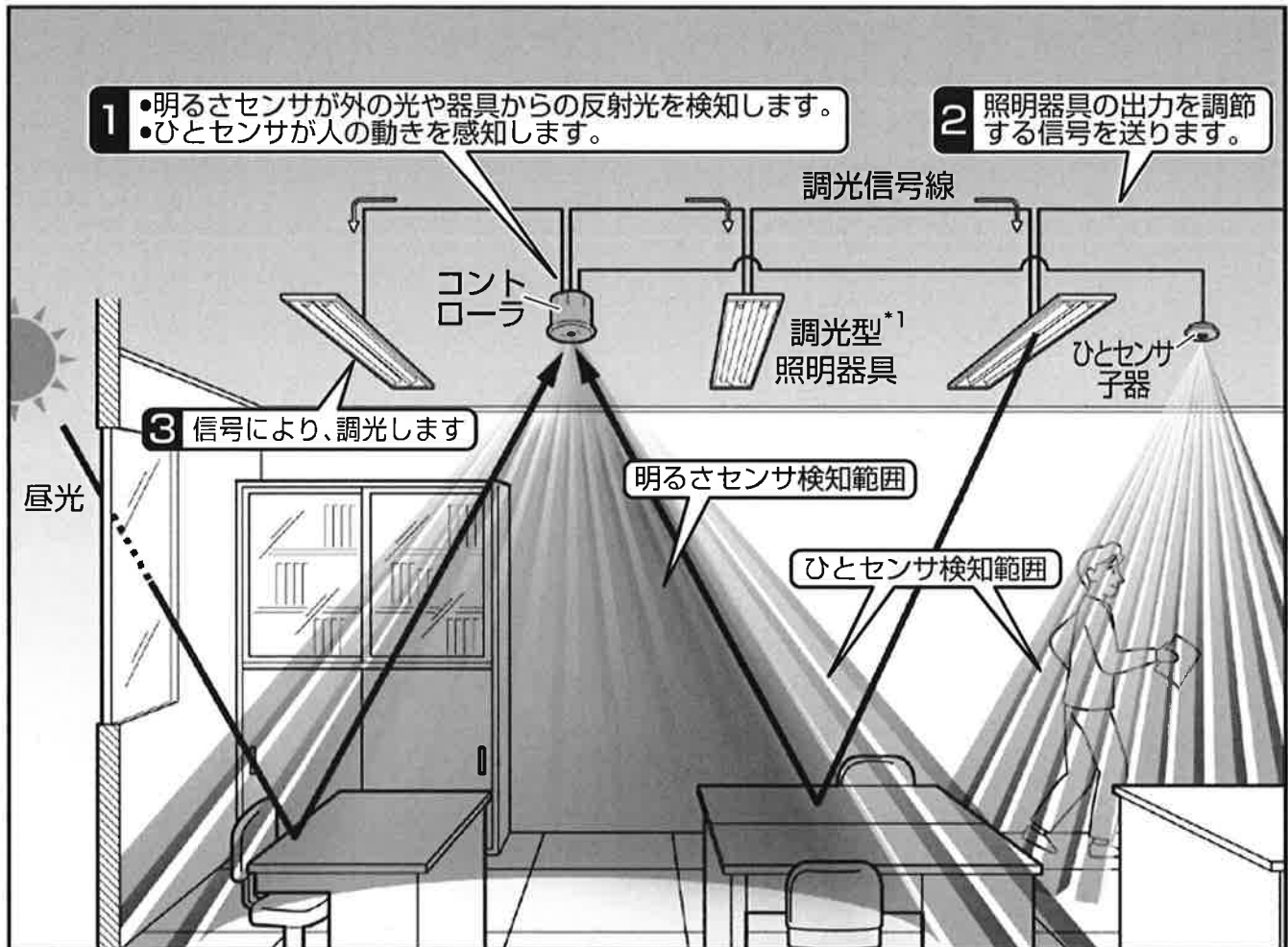


※この図は、動作の概要を説明するために簡略化しています。
詳細については、コントローラの取扱説明書・技術資料等でご確認ください。

■ひと明るさセンサ連続調光(ANタイプ)の場合

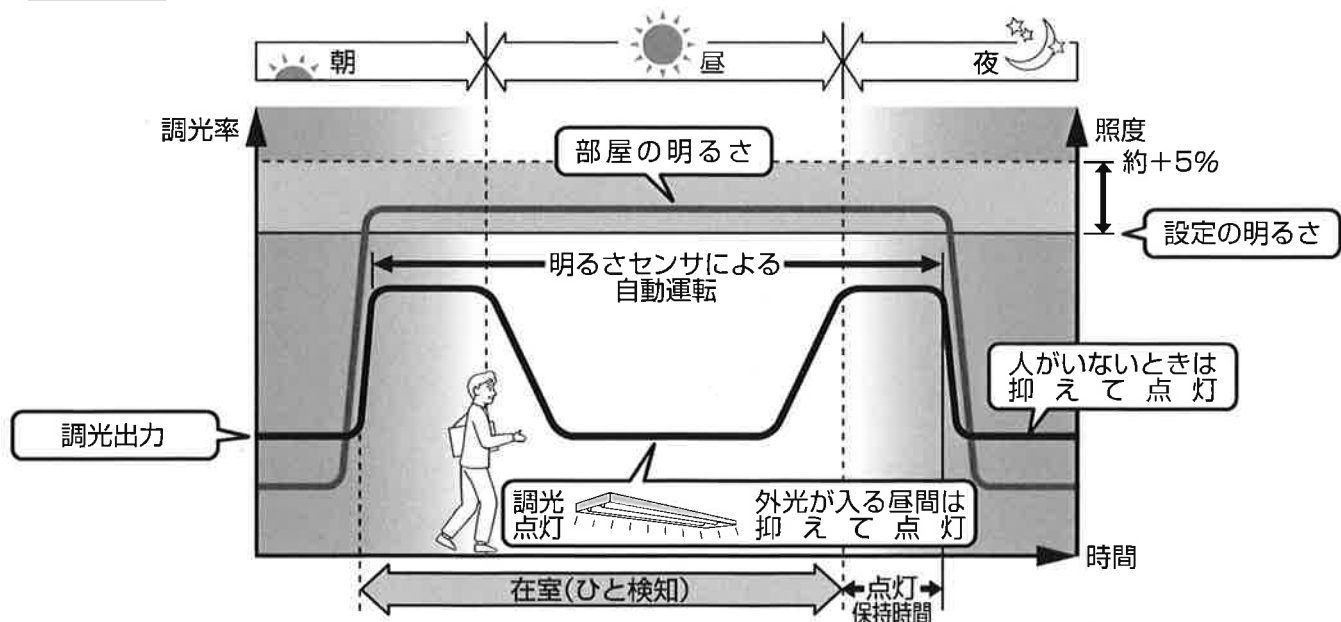
外が明るいときや、ひとが席をはずしているときは明るさを抑えて照明器具をコントロールします。

はじめに



注)*1 必ず弊社製の照明器具をご使用ください。
適合する起動方式については、P36をご参照ください。

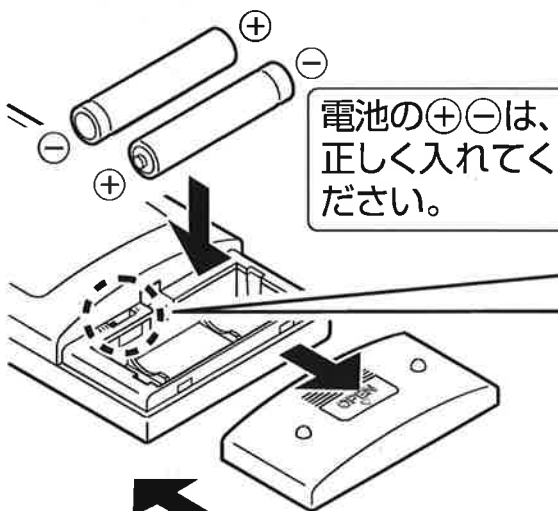
基本動作



リモコンの準備

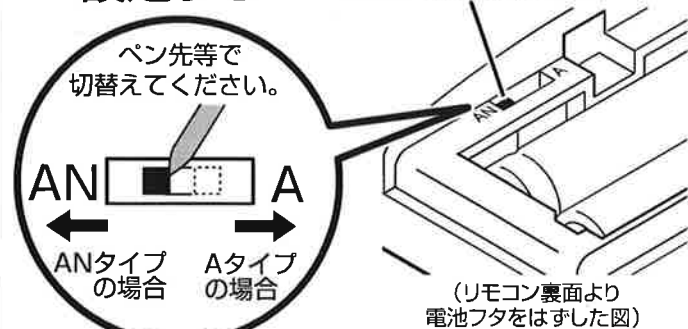
はじめに

1 電池フタをはずし、乾電池を入れる



3 電池フタをもとに戻す

2 コントローラの制御タイプを設定する



A : 明るさセンサ連続調光 (Aタイプ)
AN : ひと明るさセンサ連続調光 (ANタイプ)
(制御タイプの見分けかたは、P3をご参照ください)



工場出荷時は、
Aタイプにセッ
トされています。



異なる制御タイプを
選択すると、設定でき
ない場合があります。

各部のなまえとはたらき

■ 前フタを閉じた状態

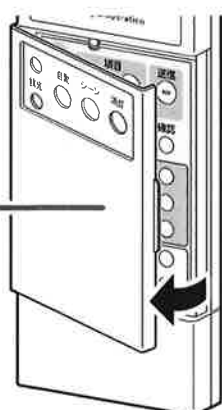
自動ボタン

設定された内容にしたがい、自
動運転をします。

手動調光ボタン

照明器具の明るさを
手動で操作できます。

前フタ



リモコン送受信部

液晶表示部

消灯ボタン

調光信号により、消灯します。
(P8をご参照ください)

シーンボタン

記憶しているシーンを再生
します。
(P20をご参照ください)

■ 前フタを開いた状態

※前フタを閉じると、リモコンの液晶表示部の内容がクリアされます。

数値ボタン

設定の時に使用します。

送信ボタン

設定内容をコントローラに送ります。

確認ボタン

運転中の動作状態を確認します。
設定した各内容を確認します。

項目ボタン

設定の時に使用します。

RESETキー

ペン先等で押すと、リモコンが工場出荷状態になります。
(コントローラの設定はそのままです)

DEMOキー

自動運転時の照明器具の明るさが、周囲の明るさに連動してすぐ変わります。
(通常は、時間をかけて使用状態でも分かりにくいように明るさが変わります。)

起動方式ボタン

明るさ再現ボタン
明るさ記憶ボタン

基本設定時に
使います。

オプションボタン

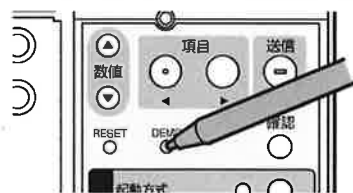
カスタム
ファンクションボタン

詳細設定時に
使います。

LED表示部 (緑色)

① 自動運転にしておく。

② 「DEMO」キーをペン先等で押す。



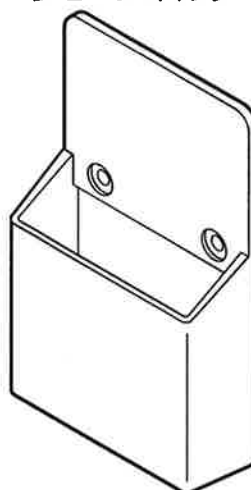
③ コントローラに向けて「送信」ボタンを押す。



● 「DEMO」再生を解除する場合は前フタを閉じ、「自動」ボタンを押します。

同梱品

・リモコンホルダ



・単4形アルカリ乾電池
(2個)



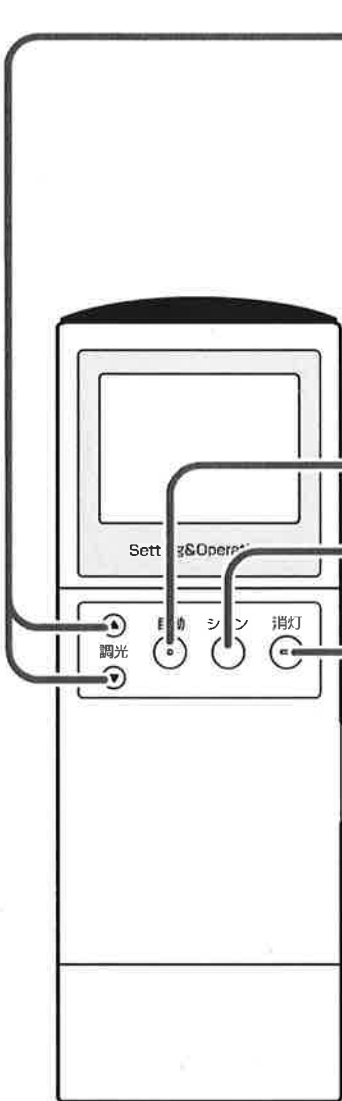
・リモコンホルダ
取付け用木ねじ (2本)



各運転のしかた

下記のボタン操作でおこなってください。各操作はあとで押すボタン操作が優先されます。ただし、対応機種や優先順位 (P35) によっては、操作できない場合があります。

操作のしかた



● **手動操作で使う** センサによる操作を中断し、操作にしたがった明るさで点灯状態を保ちます。

コントローラに向け調光ボタンを押す

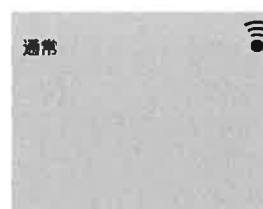
操作にしたがい、器具の明るさが変化します。

※明るさセンサの調光範囲の設定内容によらず操作できます。



● **自動運転で使う** 設定された内容にしたがい、自動運転をします。

自動ボタンを押す

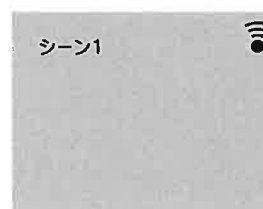


● **シーン運転で使う** (シーン運転設定方法は、P22参照) 記憶している照明条件で再生します。

シーンボタンを押す

続けて押すと画面の番号が、「シーン1」→「シーン2」→「シーン3」と表示されますが、「シーン1」しか使用できません。

(「シーン2」「シーン3」は、旧型コントローラの一部の場合のみ使用できます)



ご注意

コントローラの電源を一旦OFFにすると運転状態はリセットされ、P35の優先順位にしたがい動作します。

※FSK90771Z・FSK90781Zはシーン運転はできません。



シーン運転は、リモコン操作またはコントローラ側の無電圧a接点により再生ができます。(詳細はコントローラの取扱説明書をご覧ください)

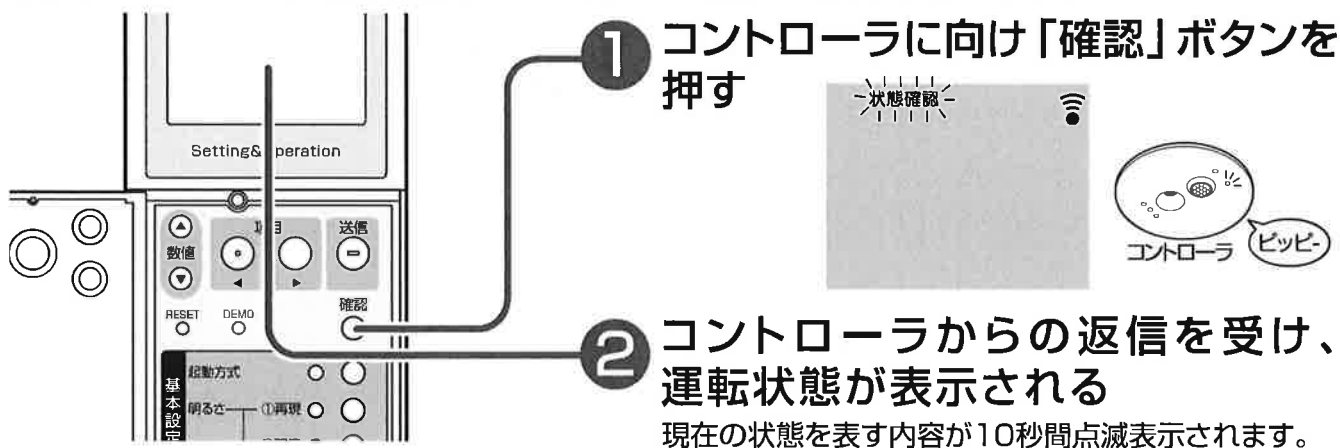
● **消灯する** 調光信号で消灯します。

※起動方式PX、EYH、PY、PD、PUX、WX、LH、LX、LY、LZ、LT、LR、LAの照明器具のみこの操作ができます。

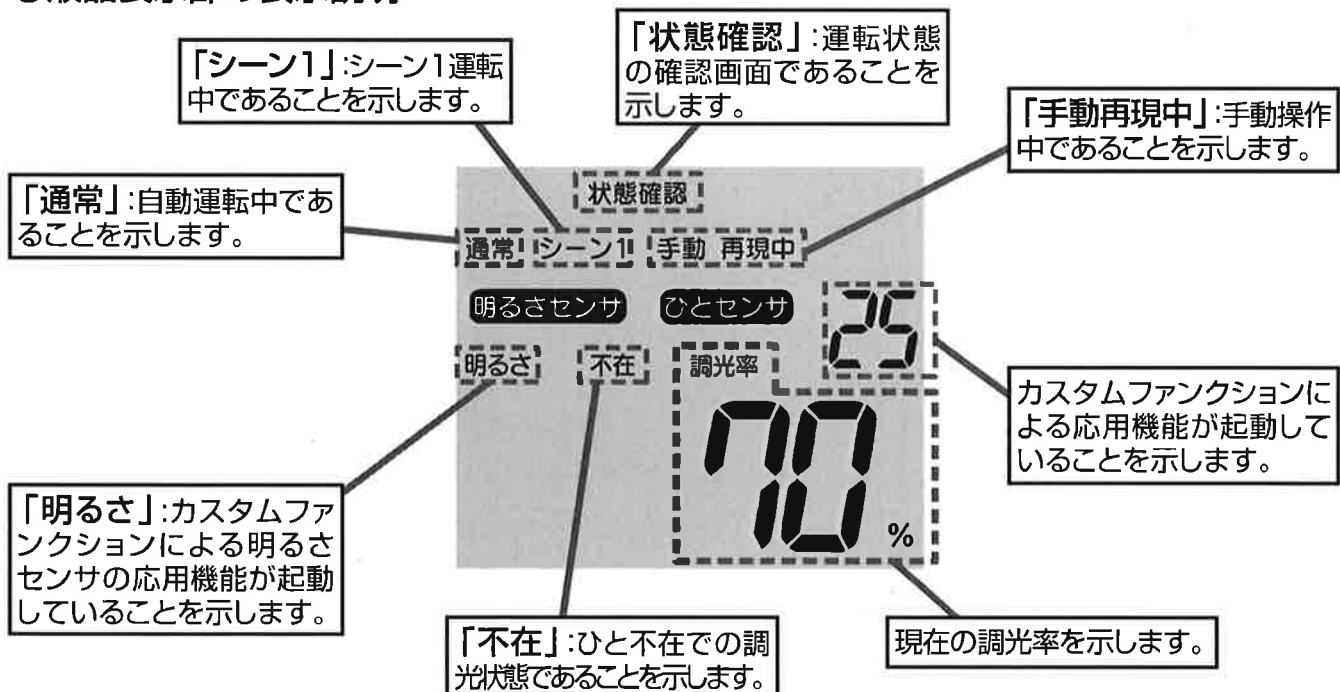


運転状態の確認をおこなう

コントローラの運転状態がお手元の液晶画面に表示されます。
現在の制御モード、調光状態などから省エネ状況の目安がわかります。

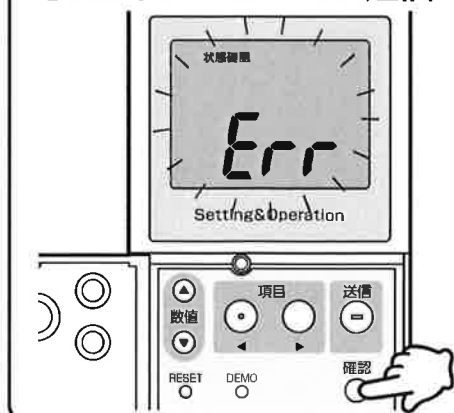


●液晶表示部の表示説明



次ページに表示例を示しています。▶

●コントローラからの返信をうまく受信できなかった場合「Err」表示が点滅します。



リモコンの操作方向・範囲 (P3) を確認のうえ、コントローラに向け再度「確認」ボタンを押す

操作のしかた

運転状態の確認をおこなう(つづき)

「自動」または「シーン」運転中の状態表示例

※表示は「自動運転」の状態を示しています。「シーン」運転の場合は、液晶表示部の「シーン1」を表示します。

●明るさセンサによる運転中

「自動」の場合



「シーン」の場合



●不在時の明るさ運動制御中 (ANタイプのみ) (P26参照)

「自動」の場合



「シーン」の場合



●不在時調光中 (ANタイプのみ)

「自動」の場合



「シーン」の場合



●不在時の最終消灯中 (ANタイプのみ) (P25参照)

「自動」の場合



「シーン」の場合



操作のしかた

手動操作中の状態表示例



P8参照

外部からの調光信号による手動調光運転中の状態表示例



P35参照

デモ運転中の表示



P7参照

信号配線の状態表示

信号配線確認中 (ANタイプの場合)



照明器具の施工からご使用までの流れ

施工

信号配線の確認をおこなう(P12)

ご注意 施工完了後、下記の「基本設定」を必ずおこなってください。

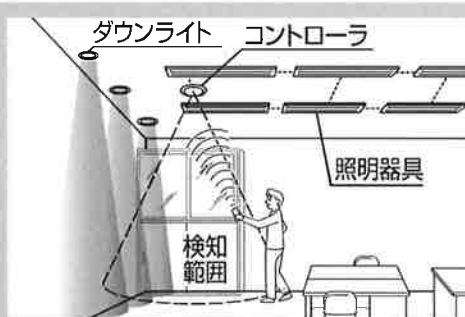


基本設定

基本設定をおこなう

●正しく明るさを設定するために、次の3点のことがらを必ず守ってください。

- 1.使用状態と同一の反射環境とするため、すべての什器を設置後、設定をおこなってください。
- 2.外光の影響のない夜間等に設定をおこなってください。
- 3.センサが周辺エリアの光の影響を受ける場合は、周辺エリアの照明を点灯させる等、使用時と同じ状態で設定をおこなってください。(右図参照)



① 照明器具の起動方式の設定をおこなう(P12)

什器搬入

ご注意 明るさの設定は、必ず什器搬入後におこなってください。



② 明るさの設定をおこなう(P14～15)

応用設定

応用設定をおこなう

- 自動運転の詳細設定をおこなう (P16～19)
- シーン運転の設定をおこなう (P20～23)

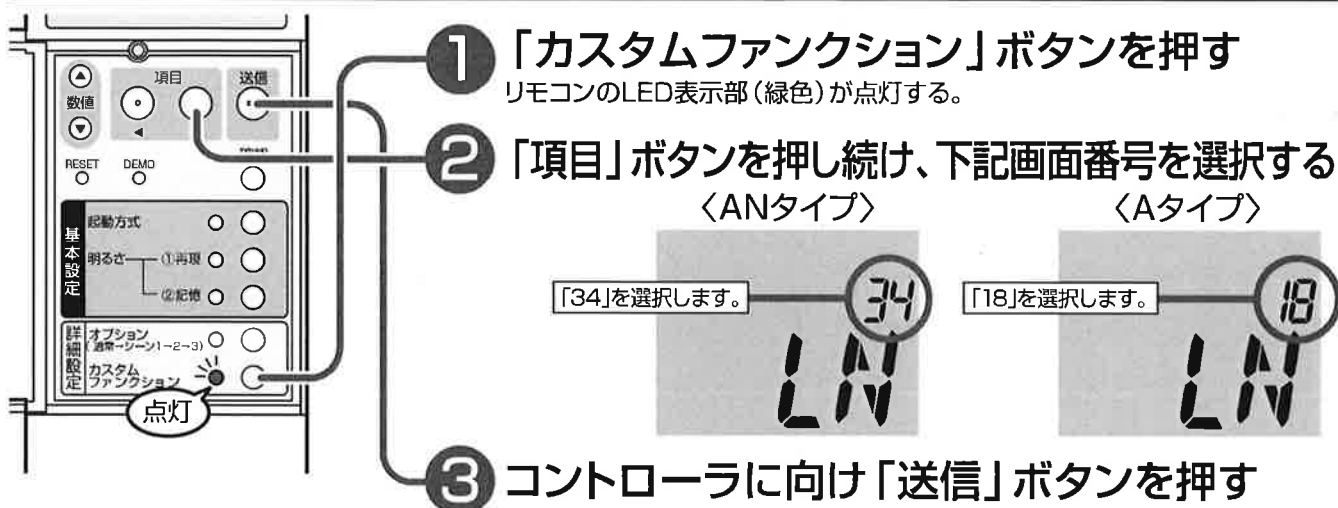
使用開始

- 手動操作で使う
- 自動運転で使う
- シーン運転で使う
- 消灯する

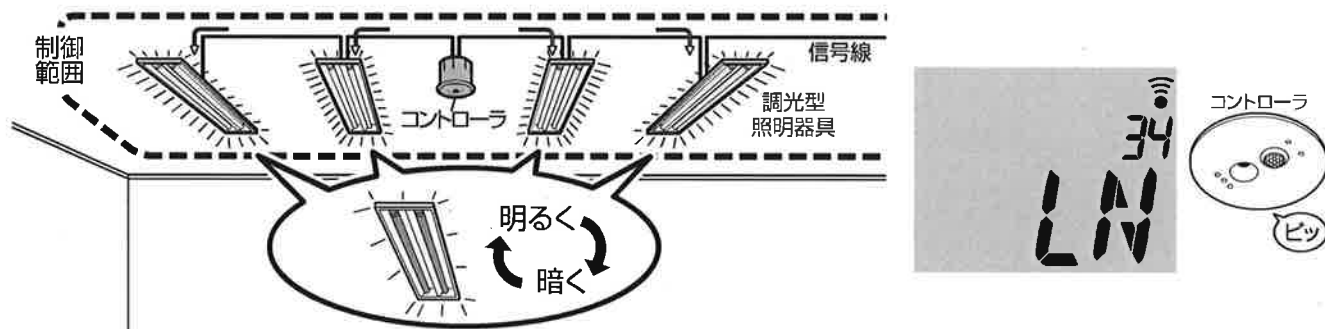
詳細はP8をご覧ください。

ご注意 什器類のレイアウトを変更した場合は設定内容を見直し、必要に応じて設定をおこなってください。

信号配線の確認をおこなう



照明器具が明るくなったり、暗くなったりを約1分間繰り返します。
調光した照明器具の台数が制限台数を越えず、コントローラの制御範囲が正しいことを確認してください。
※コントローラの制御台数、仕様をご確認ください。



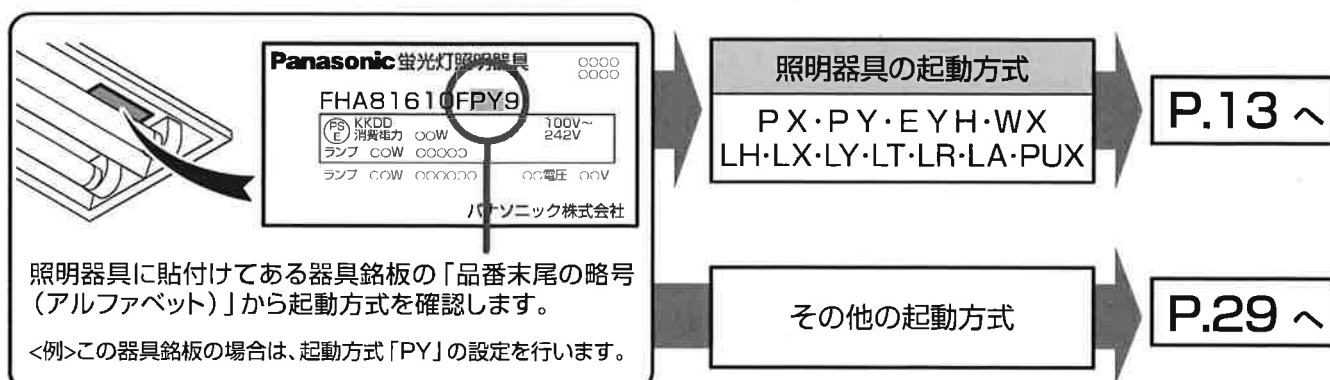
万一、照明器具の明るさが変化しない場合は・・・再度、コントローラと照明器具の信号配線が正しく施工されているか確認してください。P32「故障かな?と思ったら」の[リモコン操作ができない]をご参照ください。
確認できると、「自動」ボタンを押して終了させます。ボタン操作がない場合は、1分後、自動運転に戻ります。

1 照明器具の起動方式の設定をおこなう

コントローラに接続する照明器具の起動方式を設定します。

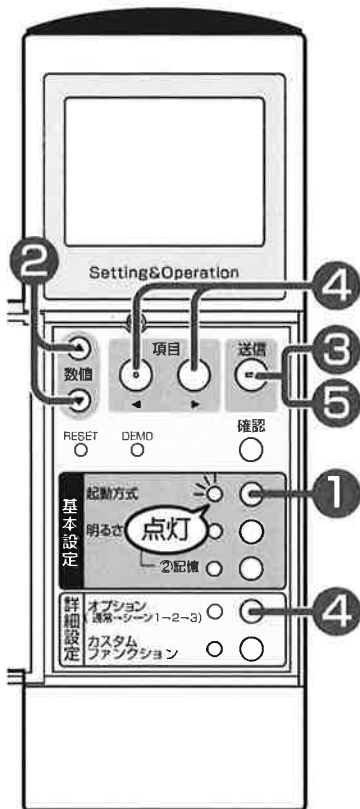
注意 ●正しく設定されないと正常に動作しません。必ず、おこなってください。
この操作をおこなうと、上・下限設定値(P16参照)が工場出荷状態にクリアされます。必ず、他の設定をおこなう前に正しくおこなってください。

1. 照明器具の起動方式を見分け



1 照明器具の起動方式の設定をおこなう(つづき)

2. 起動方式の設定をおこなう。 ※このページに記載されていない起動方式の設定についてはP29を ご参照ください。



起動方式LT・PX・PY・EYHの場合

1 「起動方式」ボタンを押す

LED表示部(緑色)が点灯します。

2 「数値」ボタンで画面を選択する

起動方式	LT・PX (工場出荷時)	PY (FHF86) ・EYH	PY (FHP32)
選択画面	01 25	02 40	03 50

3 コントローラに向け「送信」ボタンを押す

コントローラの受信音(ビピー)が鳴れば設定終了です。コントローラ
※受信音が鳴らなければ、①からやり直してください。



起動方式LR・LA・LH・LX・LY・WX・PUXの場合

1 「起動方式」ボタンを押す

LED表示部(緑色)が点灯します。

2 「数値」ボタンで画面を選択する

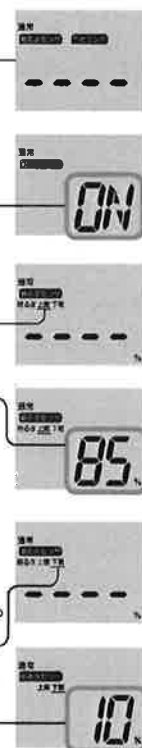
起動方式	LR・LA	LR・LA以外
選択画面	04 25	01 25

3 コントローラに向け「送信」ボタンを押す

コントローラから受信音(ビピー)が鳴れば、
下記へお進みください。 ※受信音(ビピー)が鳴らなければ、
①から、やり直してください。

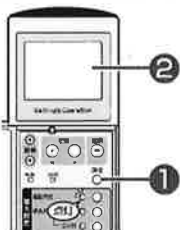
4 自動調光範囲の設定

1. 「オプション」ボタンを1回押す。
LED表示部(緑色)が点灯します。
2. 「数値」ボタンを押し、「ON」を選択する。
3. 「項目」ボタンを押し、上限値設定画面にする。
4. 「数値」ボタンを押し、自動運転時(またはシーン運転時)の自動調光範囲の上限を入力する。 **85%に設定する場合**
LH・LX・LYの場合: 85%、WXの場合: 75%、
PUXの場合: 70%、LR・LAの場合: 100%を入力する。
※上限を正しく設定しないと、P9の運転状態の確認の際に正確な調光率が表示されません。
5. 「項目」ボタンを押し、下限値設定画面にする。
6. 「数値」ボタンを押し、自動運転時(またはシーン運転時)の自動調光範囲の下限を入力する。 **10%に設定する場合**
LRの場合: 5%、LAの場合: 10%を入力する。
※下限を正しく設定しないと、P9の運転状態の確認の際に正確な調光率が表示されません。



基本設定

上記設定完了後に設定した内容を表示させ、正しく設定されたか確認することができます。



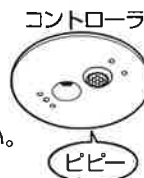
- 1 起動方式のLED表示部が点灯していることを確認のうえ、コントローラに向け「確認」ボタンを押す。
「確認」ボタンを押してからコントローラの返信を受けるまで、コントローラに向けたまにしてください。

- 2
コントローラからの返信を受けて現在の設定値が10秒間、点滅表示されます。

コントローラからの返信をうまく受信できなかった場合は、「Err」表示が点滅します。P3の操作可能範囲で再度コントローラに向け、「確認」ボタンを押してください。

1 照明器具の起動方式の設定をおこなう(つづき)

- ⑤ コントローラに向け「送信」ボタンを押す
約2秒後にコントローラから受信音(ピピー)が鳴れば、
設定完了です。※受信音(ピピー)が鳴らない、あるいはエラー音
(ピピピピッ)が鳴れば、①からやり直してください。



2 明るさの設定をおこなう

自動運転する時の明るさ基準値を設定します。設定後はその明るさを基準に動作を始めます。

正しく明るさを設定するために、次の3点のことがらを必ず守ってください。

1. 使用状態と同一の反射環境とするため、すべての什器を設置後、設定をおこなってください。
2. 外光の影響のない夜間等に設定をおこなってください。
3. センサが周辺エリアの光の影響を受ける場合は、周辺エリアの照明を点灯させる等、使用時と同じ状態で設定をおこなってください。

基本設定

アドバイス
他の設定手順でおこなうこともできます。(P28もあわせてご覧ください。)



- ① 「再現」ボタンを押す

LED表示部(緑色)が点灯します。

- ② 「数値」ボタンで調光率を調整する

お好みの調光率に調整してください。一般的には、下記「保持率とは・・・」を参考に、「標準的保守率」と同じ数値を選択します。

調光率65%にする場合



保守率とは・・・

新しい照明設備は、予め設備の使用時間の経過とともにランプ自身の明るさの減退、ランプ・照明器具の汚れ、室内の反射率が下がるなどによる照度低下を見込んで配置設計されます。この低下率を保守率と呼び、標準的な値は下表の通りです。

時間経過後の明るさ(入射光量)をコントローラに設定しておくことで、時間経過によらず一定の明るさを保ち、省エネが図れます。

■標準的保守率(%)

照明器具の種類		標準的保守率		
		光源		
		蛍光灯※2	直管形LED 一体型LED※3	FHF63形 (Wエコ)※3
露出型		69%	81%	73%
下面開放型		69%	77%	73%
簡易密閉型		65%	72%	69%

※1 この表は、一般的なオフィス環境(汚れ度合:普通)での値です。

※2 照明学会・技術資料「照明設計の保守率と保守計画」JIEG-001(2005)」から引用。

※3 保守率は、光源によっても異なります。上記光源の場合にはご参照ください。その他の光源の場合は、別途ご相談ください。

ご注意

コントローラの記憶ができない場合は、P32「故障かな?と思ったら」の「設定した明るさを記憶できない」をご参照ください。

2 明るさの設定をおこなう(つづき)

③ コントローラに向け「送信」ボタンを押す

コントローラの「赤」LEDが点滅を開始します。

コントローラが複数台あれば、それぞれのコントローラに向けて「送信」ボタンを押してください。

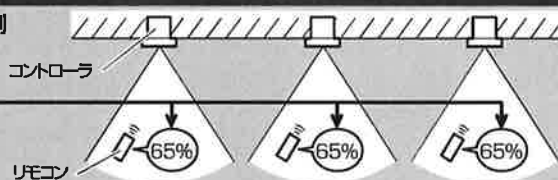
実際の明るさ確認後、変更する場合は②、③の動作を繰り返してください。



部屋全体の照明器具の調光率が一様になるように設定する。

■調光率「65%」に設定する事例

コントローラが複数台ある場合は、明るさにバラツキが生じないようにすべてに同じ調光率を設定してください。

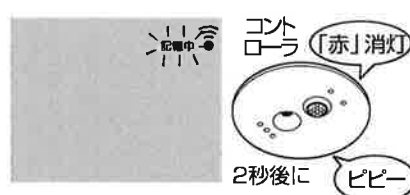


④ 「記憶」ボタンを押す

LED表示部(緑色)が点灯します。

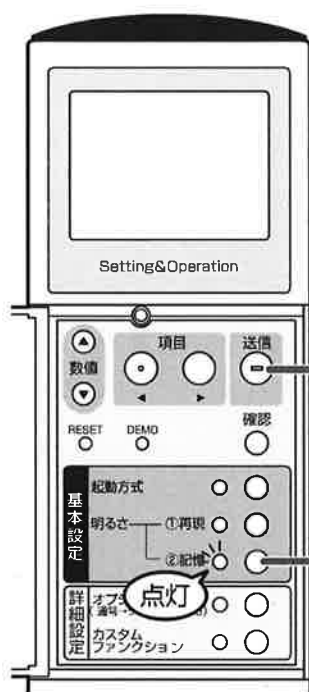
⑤ コントローラに向け「送信」ボタンを押す

コントローラが複数台あれば、それぞれのコントローラに向け、⑤の動作をおこなってください。



正しく受信されると約2秒後にコントローラから受信音(ピー)が鳴り、「赤」LEDが消灯します。

設定エラーの場合は「ピピピピ」と鳴り、「赤」LEDが点灯します。自動ボタンで解除し、①からやり直してください。

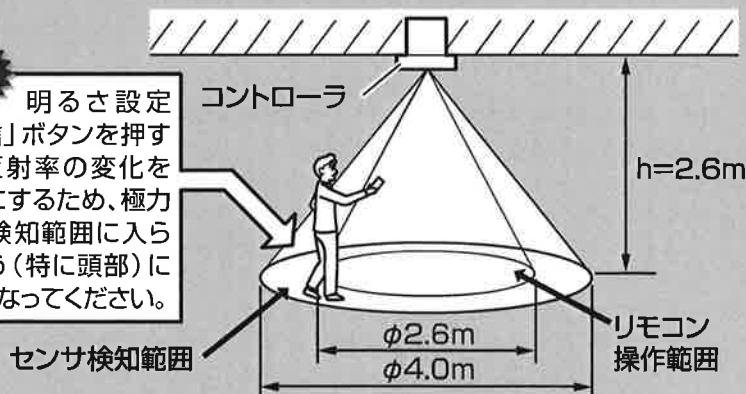


基本設定

■「送信」ボタン操作時のご注意

ご注意

明るさ設定の「送信」ボタンを押す際は、反射率の変化を最小限にするため、極力センサ検知範囲に入らないよう(特に頭部)にしておこなってください。



これで基本設定は全て完了し、自動運転が開始されます。

●設定した数値は、実際使用時の数値とは異なります。P30「Q&A」Q5をご参照ください。

自動運転の詳細設定 設定フロー

自動運転での設定内容を、好みや必要に応じて、その内容を変えて設定することができます。

明るさセンサに関する設定

明るさセンサを使う

明るさセンサ設定「ON」で自動運転ができます。
(明るさセンサによる自動運転)

工場出荷状態：ON

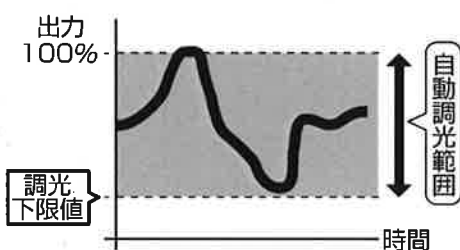
明るさセンサを使わない

明るさセンサ設定「OFF」で自動運転ができます。
(固定出力による自動運転)

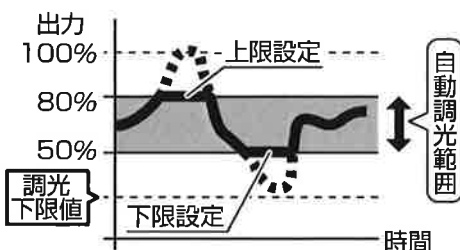
調光範囲(上限・下限)を設定する

自動運転時(またはシーン運転時)(P20~23参照)の照明器具の出力範囲を制限することができます。
例えば、昼光で明るくなくても照明器具の出力を確保することで手暗がりの防止等にご使用いただけます。明るさの上限と下限をそれぞれ設定できます。

工場出荷状態 上限値：100%
下限値：25%



設定例 ▼



明るさを設定する

明るさセンサを「OFF」モードで、任意の調光率を設定し、センサによらない固定出力運転での設定ができます。

引き続き「ひとセンサの設定」を変更する場合は次ページへ(ANタイプ)

ひとセンサに関する設定(ANタイプのみ)

ひとセンサを使う

ひとセンサ設定「ON」で自動運転ができます。
(ひと検知運転)

工場出荷状態：ON

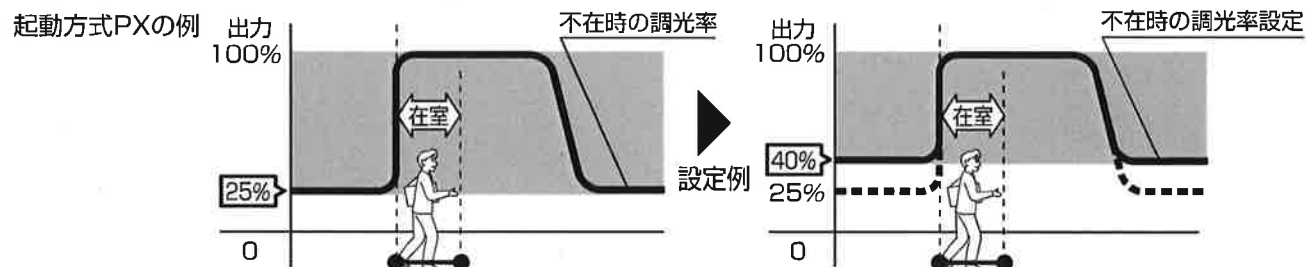
ひとセンサを使わない

ひとセンサ設定「OFF」で自動運転ができます。

ひと不在時の明るさを設定する

ひと不在時は、設定された調光率まで徐々に明るさを下げて調光します。この調光率を設定します。

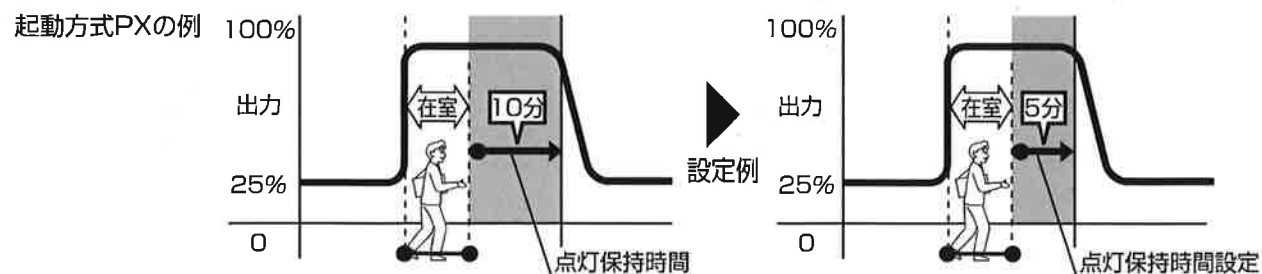
工場出荷状態 不在時の調光率：25%



点灯保持時間を設定する

ひと不在になった時点から、不在時調光点灯になるまでの時間が設定できます。

工場出荷状態 点灯保持時間：10分

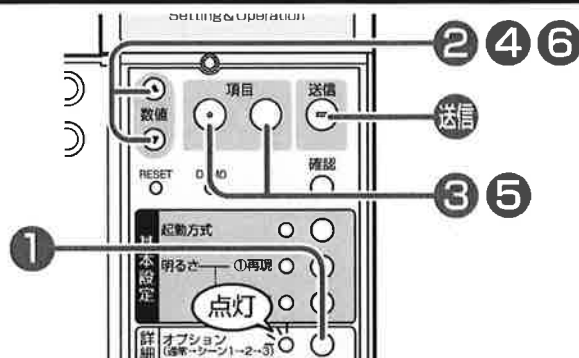


自動運転の詳細設定 操作手順

- 1** 「オプション」ボタンを1回押す
オプションのLED表示部が点灯します。



各設定ごとにコントローラに向け「送信」ボタンを押し設定はできますが、最後にまとめて「1回の操作」で設定した内容すべての送信ができます。



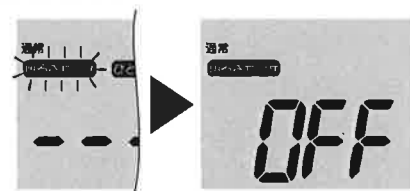
明るさセンサを使う場合

- 2** 「数値」ボタンを押し、「ON」を選択する



明るさセンサを使わない場合

- 2** 「数値」ボタンを押し、「OFF」を選択する



調光範囲(上限)を設定する

- 3** 「項目」ボタンを押し、上限値設定画面にする
上限値を設定しない場合は⑤に進む。
※前の画面に戻るときは「項目」ボタンを押してください。



固定出力運転を設定する

- 3** 「項目」ボタンを押し、調光率設定画面にする



- 4** 「数値」ボタンを押し、変更したい上限値を選択する
押すごとに0~100%の間で、5%刻みで増減します。

上限値を80%にする場合



- 4** 「数値」ボタンを押し、調光率を選択する
押すごとに0~100%の間で、5%刻みで増減します。

調光率を80%にする場合



調光範囲(下限)を設定する

- 5** 「項目」ボタンを押し、下限値設定画面にする
下限値を設定しない場合は⑦に進む。
※前の画面に戻るときは「項目」ボタンを押してください。



- 6** 「数値」ボタンを押し、変更したい下限値を選択する
押すごとに0~100%の間で、5%刻みで増減します。

下限値を50%にする場合



ANタイプの場合

引き続き次ページ⑦へ

Aタイプの場合

送信へ

Aタイプの場合

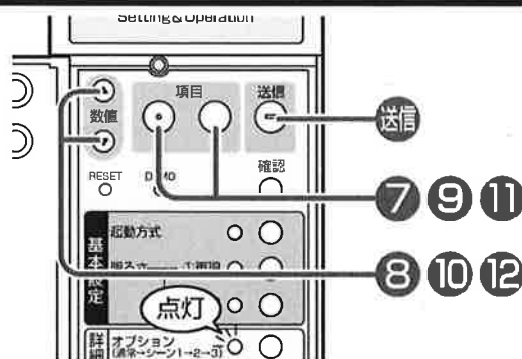
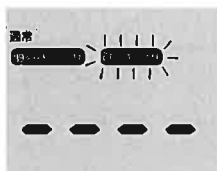
- 送信** コントローラに向け「送信」ボタンを押す
各設定内容を一回でまとめて送信します。



Aタイプの場合はこれで**設定終了**です。
ANタイプの場合は、引き続き⑦をおこなってください。

ANタイプの場合

- 7** 「項目」ボタンを押し、ひとセンサ設定画面にする
※前の画面に戻るときは「項目」ボタンを押してください。



ひとセンサを使う場合

- 8** 「数値」ボタンを押し、「ON」を選択する



ひと不在時の明るさを設定する

- 9** 「項目」ボタンを押し、不在調光率設定画面にする
※前の画面に戻るときは「項目」ボタンを押してください。



- 10** 「数値」ボタンを押し、調光率を選択する
押すごとに0～100%の間で、5%刻みで増減します。

調光率を25%にする場合



点灯保持時間を設定する

- 11** 「項目」ボタンを押し、点灯保持設定画面にする
※前の画面に戻るときは「項目」ボタンを押してください。



- 12** 「数値」ボタンを押し、保持時間を選択する
1分と5分から30分までの間で、5分単位で選べます。

保持時間を10分にする場合

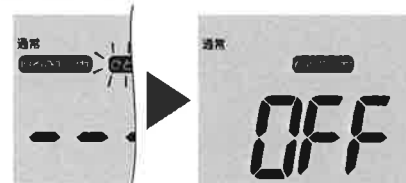


- 送信** コントローラに向け「送信」ボタンを押す
②～⑩の設定内容を一回でまとめて送信します。



ひとセンサを使わない場合

- 8** 「数値」ボタンを押し、「OFF」を選択する



- 送信** コントローラに向け「送信」ボタンを押す
②～⑧の設定内容を一回でまとめて送信します。



コントローラ

アドバイス

- センサを「OFF」にしても各設定内容についてはそのまま保持されますので、「ON」に選択すると切替え前の設定条件で動作します。
- 設定内容を確認するには、オプションのLED表示部が点灯しているのを確認のうえ、コントローラに向け「確認」ボタンを押してください。(P13参照)
- 不在時の最終消灯(ANタイプのみ)も設定できますので、P25をご参照ください。



コントローラ



※各起動方式の調光範囲については、36ページをご覧ください。

シーン運転の設定 設定フロー

自動運転に加えて、「シーン運転」を活用することでさらなる省エネ運転や演出等、多様なバリエーションをもたせることができます。普段よくご使用される照明パターンを「シーン運転」で設定しておくくと便利です。

明るさセンサに関する設定

明るさセンサを使う

明るさセンサ設定「ON」で自動運転ができます。
(明るさセンサによる自動運転)

工場出荷状態：OFF

明るさセンサを使わない

明るさセンサ設定「OFF」で自動運転ができます。
(固定出力による自動運転)

シーンの明るさを設定する

基本設定での明るさに対する比率で、シーンの明るさを設定します。

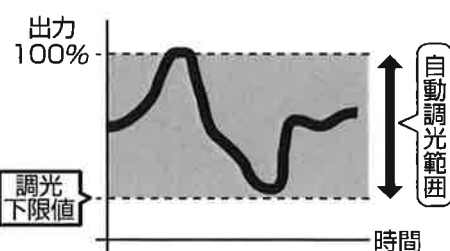
明るさを設定する

明るさセンサを「OFF」モードで、任意の調光率を設定し、センサによらない固定出力運転での設定ができます。

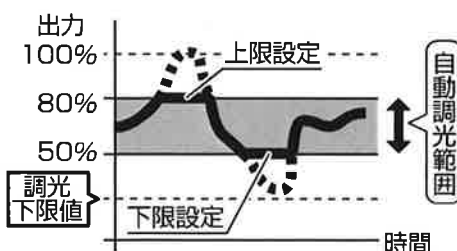
調光範囲(上限・下限)を設定する

シーン運転時の照明器具の出力範囲を制限することができます。
例えば、昼光で明るくなくても照明器具の出力を確保することで手暗がりの防止等にご使用いただけます。明るさの上限と下限をそれぞれ設定できます。

工場出荷状態 上限値：100%
下限値：25%



設定例



引き続き「ひとセンサの設定」を変更する場合は次ページへ(ANタイプ)

「シーン運転」とは…

自動運転とは異なった明るさでの設定や固定出力での運転ができます。また、ひとセンサについても自動運転と異なった設定での運転や、ひとセンサOFFでの運転ができます。

オプション

ひとセンサに関する設定(ANタイプのみ)

ひとセンサを使う

ひとセンサ設定「ON」で自動運転ができます。(ひと検知運転)

工場出荷状態：ON

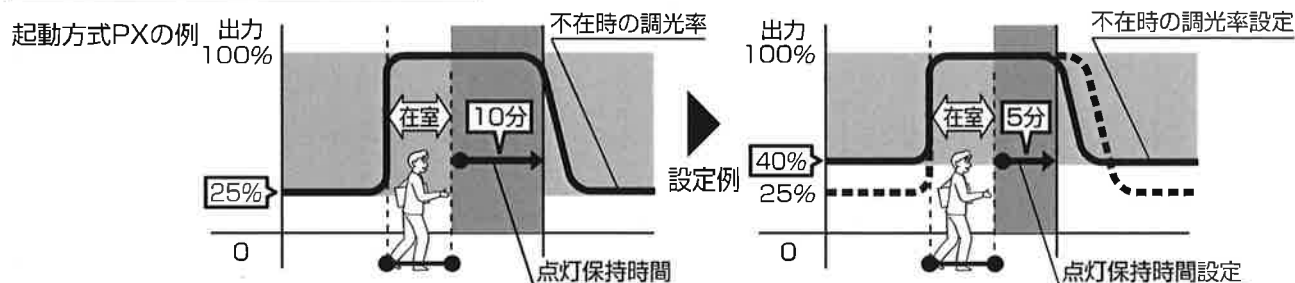
ひとセンサを使わない

ひとセンサ設定「OFF」で自動運転ができます。

ひと不在時の明るさを設定する

ひと不在時は、設定された調光率まで徐々に明るさを下げて調光します。この調光率を設定します。

工場出荷状態 不在時の調光率：25%



点灯保持時間を設定する(上図参照)

ひと不在になった時点から、不在時調光点灯になるまでの時間が設定できます。

工場出荷状態 点灯保持時間：10分

シーン運転での応用例

- プロジェクタを使用時に調光率を落とす等、利用目的に応じた適切な照明シーンを記憶・演出します。

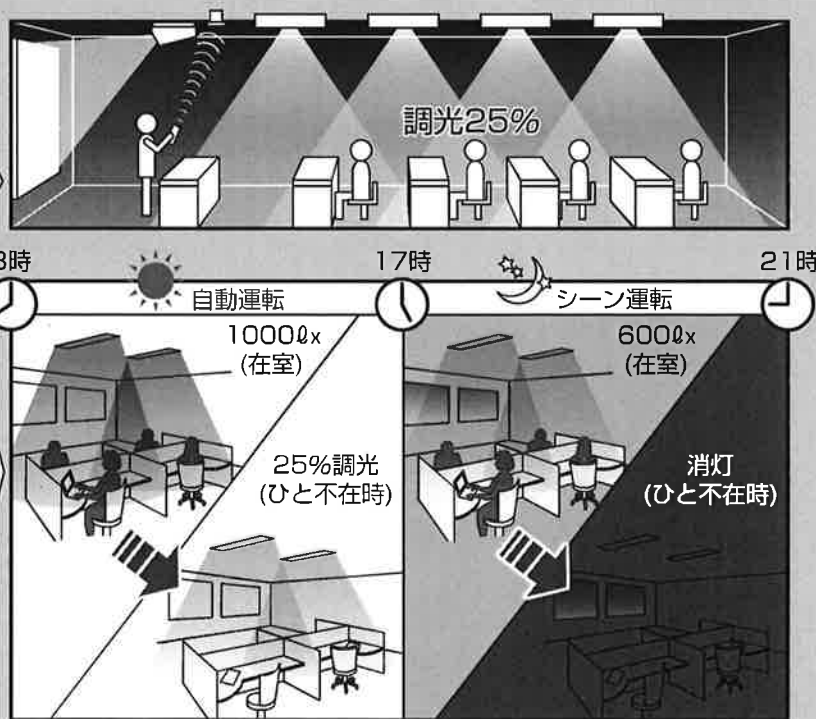
明るさセンサを使わない明るさ設定をおこないます。

- 事務所等において、自動運転とシーン運転を時間帯で使い分け、消し忘れ防止やさらなる省エネを図ります。

明るさセンサを使い、シーン運転時の明るさの設定をひとセンサを使い、ひと不在時の明るさを設定します。



補足メモ シーン運転は、リモコン操作またはコントローラ側の無電圧a接点により再生ができます。(詳細はコントローラの取扱説明書をご覧ください)



設定手順については、次ページをご覧ください。

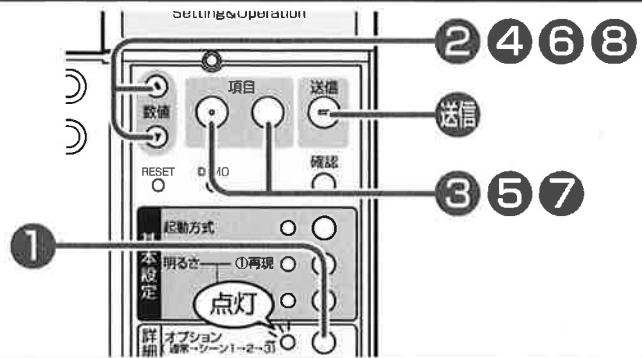
応用設定

シーン運転の詳細設定 操作手順

- 1** 「オプション」ボタンを2回押す
オプションのLED表示部が点灯します。

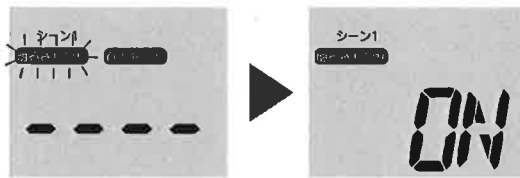


各設定ごとにコントローラに向け「送信」ボタンを押し設定はできませんが、最後にまとめて「1回の操作」で設定した内容すべての送信ができます。



明るさセンサを使う場合

- 2** 「数値」ボタンを押し、「ON」を選択する



明るさの比率を設定する

- 3** 「項目」ボタンを押し、明るさ設定画面にする
明るさを設定しない場合は⑥に進む。

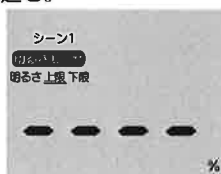


- 4** 「数値」ボタンを押し、自動運転時に対する明るさの比率を選択する
押すごとに30～100%の間で、10%刻みで増減します。



調光範囲（上限）を設定する

- 5** 「項目」ボタンを押し、下限値設定画面にする
下限値を設定しない場合は⑦に進む。

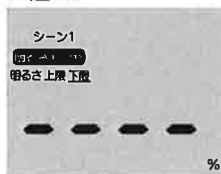


- 6** 「数値」ボタンを押し、変更したい下限値を選択する
押すごとに0～100%の間で、5%刻みで増減します。



調光範囲（下限）を設定する

- 7** 「項目」ボタンを押し、下限値設定画面にする
下限値を設定しない場合は⑧に進む。



- 8** 「数値」ボタンを押し、変更したい下限値を選択する
押すごとに0～100%の間で、5%刻みで増減します。



ANタイプの場合

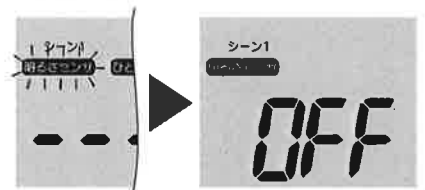
引き続き次ページ⑨へ

Aタイプの場合

送信へ

明るさセンサを使わない場合

- 2** 「数値」ボタンを押し、「OFF」を選択する



固定出力運転を設定する

- 3** 「項目」ボタンを押し、調光率設定画面にする



- 4** 「数値」ボタンを押し、調光率を選択する
押すごとに0～100%の間で、5%刻みで増減します。



調光率を80%にする場合

ANタイプの場合

引き続き次ページ⑨へ

Aタイプの場合

- 送信** コントローラに向け「送信」ボタンを押す
各設定内容を一回でまとめて送信します。

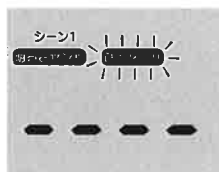


明るさセンサ「ON」で下限設定50%の場合

Aタイプの場合はこれで**設定終了**です。
ANタイプの場合は、引き続き⑨をおこなってください。

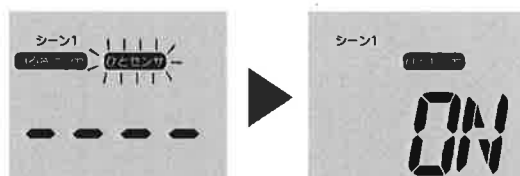
ANタイプの場合

- 9 「項目」ボタンを押し、ひとセンサ設定画面にする



ひとセンサを使う場合

- 10 「数値」ボタンを押し、「ON」を選択する



ひと不在時の明るさを設定する

- 11 「項目」ボタンを押し、不在調光率設定画面にする



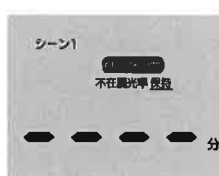
- 12 「数値」ボタンを押し、調光率を選択する
押すごとに0～100%の間で、5%刻みで増減します。

調光率を25%にする場合



点灯保持時間を設定する

- 13 「項目」ボタンを押し、点灯保持設定画面にする



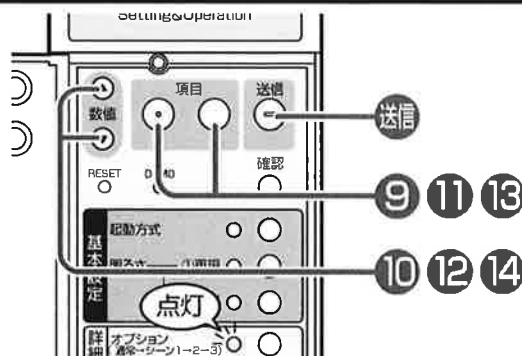
- 14 「数値」ボタンを押し、保持時間を
1分と5分から30分までの間で、5分単位で
選べます。

保持時間を10分にする場合



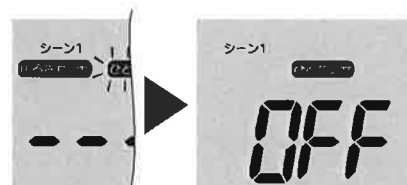
- 送信 コントローラに向け「送信」ボタンを押す

②～⑭の設定内容を一回でまとめて送信します。



ひとセンサを使わない場合

- 10 「数値」ボタンを押し、「OFF」を選択する



- 送信 コントローラに向け「送信」ボタンを押す

②～⑭の設定内容を一回でまとめて送信します。



アドバイス

- センサを「OFF」にしても各設定内容についてはそのまま保持されますので、「ON」に選択すると切替え前の設定条件で動作します。
- 設定内容を確認するには、オプションのLED表示部が点灯しているのを確認のうえ、コントローラに向け「確認」ボタンを押してください。(P13参照)
- 不在時の最終消灯(ANタイプのみ)も設定できますので、P25をご参照ください。



その他の設定

「オプション」設定の他に用途に応じて「カスタムファンクション」設定があります。さらなる省エネ運転バリエーションをもたせることができます。

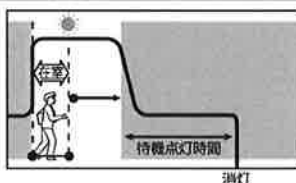
A ヒトセンサの検知モニタ (ANタイプのみ) (P25へ)



LED (赤) の点灯で、ヒトセンサの検知状況をリアルタイムに表示します。点滅が気になる場合、このモニタ機能をOFFすることもできます。

工場出荷状態：ON

B 不在時の最終消灯 (ANタイプのみ) (P25へ)



自動・シーンの各運転において、不在後の調光点灯から消灯モードに移行させる設定ができます。その場合、消灯までに至る待機点灯時間の設定が必要となります。

工場出荷状態：OFF

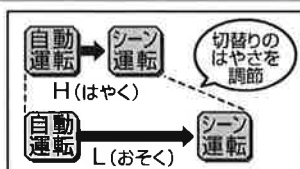
C 不在時の明るさ連動制御 (ANタイプのみ) (P26へ)



ひとが不在の時にも明るさセンサを使ったフィードバック制御が選択できます。明るさの設定は通常運転の明るさを基準に設定します。

工場出荷状態：OFF

D シーンフェード (P26へ)



外部接点を使った場合の各シーンへの移行時の速度を二段階から選択できます。速度はそれぞれH (はやく) : 約25%/秒、L (おそく) : 約1%/秒となります。但し、リモコンを使った場合は設定値にかかわらずH (はやく) のみとなります。また、各設定値は自動運転への移行にも反映されます。

工場出荷状態：L (おそく)

E 明るさ測定時間の設定 (P27へ)



明るさセンサが周囲の明るさを測定する時間を設定できます。短く設定すれば、昼光などの変化により早く追従できますが、一時的な反射率の変化などにも敏感に反応することになります。

工場出荷状態：12秒

F ヒト検知時の立ち上がりフェードスピードの切替 (ANタイプのみ) (P27へ)

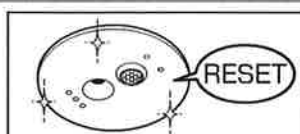


ヒト検知時の立ち上がりフェードスピードの切り替えができます。通常の高速の約8倍の高速で立ち上がります。

※ヒト検知時に瞬時に明るくなってほしい場合にお勧めします。
(NTタイプとしての使用など)

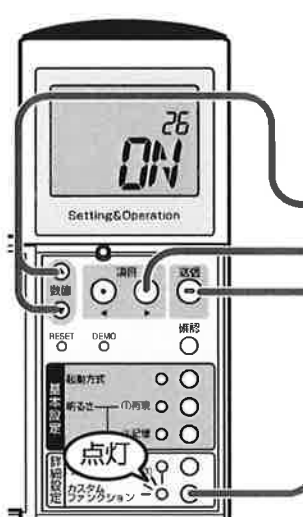
工場出荷状態：OFF (約4秒)
設定時：ON (約0.5秒)

G コントローラの記憶設定値の初期化 (P27へ)



コントローラに記憶している設定情報を初期化することができます。初期化後の各種設定値は全て工場出荷状態 (P16~17参照) となりますのでご注意ください。初期化後は基本設定 (起動方式の設定、明るさ設定) もクリアされますので、再度、基本設定 (P12~15) をおこなってください。

A ヒトセンサの検知モニタ (ANタイプのみ)



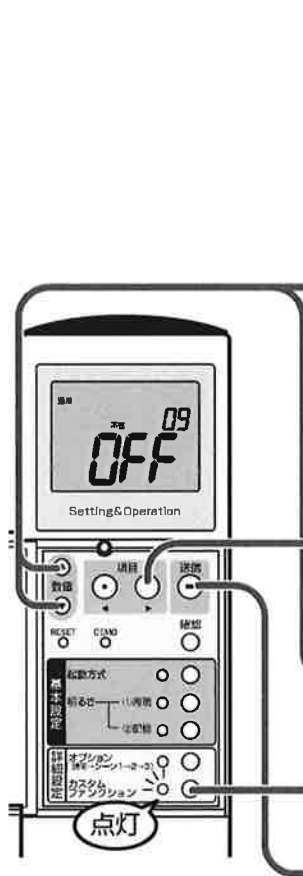
- 1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。
- 2 「項目」ボタンで画面番号「26」を選択する
- 3 「数値」ボタンを押し「ON」を選択する
- 4 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
「ビピー」とコントローラの受信音が鳴ります。

コントローラに向け「確認」ボタンを押し、設定内容を確認する
コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(「Err」表示の場合、P13参照)



B 不在時の最終消灯 (ANタイプのみ)

※起動方式 PX・EYH・PY・PD・PUX・WX・LH・LX・LY・LZ・LT・LR・LAのみ



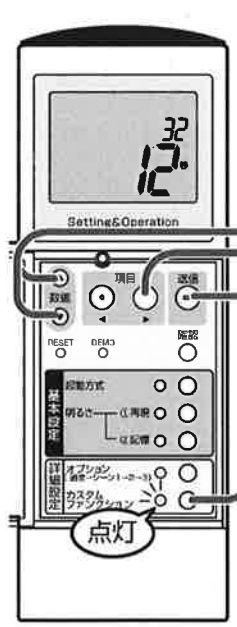
- 1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。
- 2 「項目」ボタンで画面番号「09」を選択する(自動運転の場合)
シーン運転の場合は「11」を選択します
- 3 「数値」ボタンを押し「ON」を選択し、
コントローラに向け送信する
- 4 「項目」ボタンを押し、画面番号「10」
を選択する(自動運転の場合)
シーン運転の場合は「12」を選択します。
- 5 「数値」ボタンを押し、待機点灯させる
時間を選択する
1分、5分……30分まで5分間隔で設定できます。
- 6 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
「ビピー」とコントローラの受信音が鳴ります。



応用設定

●コントローラに向け「確認」ボタンを押し、設定内容を確認する
コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(「Err」表示の場合、P13参照)
※起動方式PX・EYH・PY・PD・PUX・WX・LH・LX・LY・LZ・LT・LR・LAのみ。(P13参照)

E 明るさ測定時間の設定

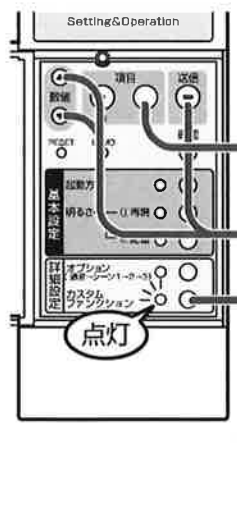


- 1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。
- 2 「項目」ボタンで画面番号ANタイプ「32」を選択する
Aタイプの場合は「16」を選択します。
※ANタイプとAタイプの切り替えについては、P6参照。
- 3 「数値」ボタンを押し明るさセンサが周囲の明るさを測定する時間を選択する
ボタンを押続けると、3秒から30秒まで1秒刻みで増減します。標準値は12秒です。
- 4 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
「ピピー」と受信音が鳴ります。
設定した明るさになるまで、周囲の明るさ測定と器具の調光を繰り返します。

20秒に設定する場合。

コントローラに向け「確認」ボタンを押し、設定内容を確認する
コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(「Err」表示の場合、P13参照)

F ひと検知時の立ち上がりフェードスピードの切替(ANタイプのみ)

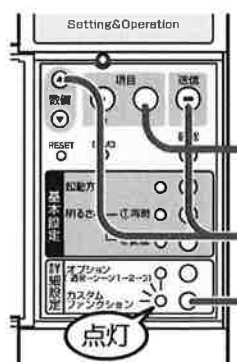


- 1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。
- 2 「項目」ボタンで画面番号「33」を選択する
- 3 「数値」ボタンを押し「ON」を選択し、コントローラに向け送信する
※OFF：約4秒、ON：約0.5秒

コントローラに向け「確認」ボタンを押し、設定内容を確認する
コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(「Err」表示の場合、P13参照)

応用設定

G コントローラの記憶設定値の初期化



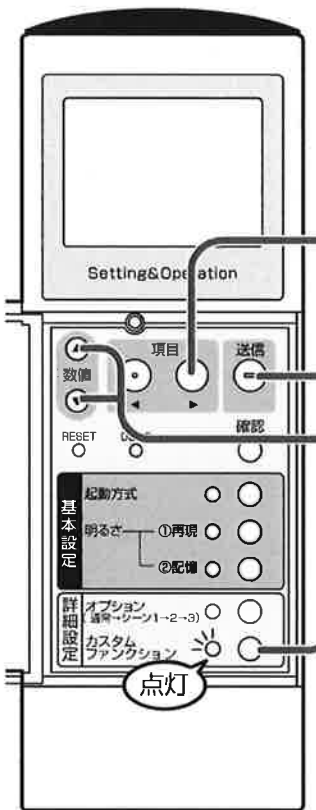
- 1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。
- 2 「項目」ボタンで画面番号ANタイプ「41」を選択する
Aタイプの場合は「25」を選択します。
- 3 コントローラに向け「数値」ボタン ▲ を押しながら、「送信」ボタンを押す
「ピッ」と受信音が鳴り、LEDが点滅状態になります。
※しばらくリモコン操作が効きません。(ANタイプ1分間、Aタイプ5秒間)

その他の設定(つづき)

●明るさの設定をおこなう〈照度で設定する場合〉※別途、照度計が必要です。

自動運転やシーン運転をするための明るさ設定を、照度計を用いて設定する場合に便利な方法です。基本設定でおこなう(P14~15)設定と手順は異なりますが、設定する内容は同じです。

応用設定



1 「カスタムファンクション」ボタンを押す
LED表示部(緑色)が点灯します。

2 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
コントローラが複数台あれば、それぞれのコントローラに向けて、「送信」ボタンを押してください。
100%であることを確認する。

3 「項目」ボタンを押し、画面番号「04」を選択する

4 「数値」ボタンを押し、照度計の数値を表示する(初期値の設定)
実際に照度計で測定した数値を表示します。ボタンを押すごとに50lx~9950lxの間で、50lx刻みで、押し続けると100lx刻みで増減します。

5 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
※100%点灯状態でないとコントローラは受信しません「無反応」。
●正しく受信された場合、操作後、約2秒で「ビビー」と鳴ります。
●設定エラーの場合、「ビビビビ」と鳴り、赤LEDが点灯します。自動ボタンで解除して①からやり直してください。

6 「項目」ボタンを押し、画面番号「05」を選択し、数値ボタンで照度を調整する(目標照度値の設定)
運転させたい明るさ(照度)を表示させます。

7 コントローラに向け「送信」ボタンを押す
●正しく受信された場合、「ビビー」と鳴ります。
●設定エラーの場合、「ビビビビ」と鳴り、赤LEDが点灯します。自動ボタンで解除して⑥からやり直してください。

8 前フタを閉じ、コントローラに向け「自動」ボタンを押す
自動運転を開始します。

画面表示と音:

- 画面01: 100% (緑色点滅)
- 画面04: 3000 lx
- 画面04: 1500 lx (1500lxに設定の場合)
- 画面04: 1500 lx (2秒後に「ビビー」)
- 画面05: 750 lx (シーン運転の場合は「06」を選択する。750lxに設定の場合)
- 画面05: 750 lx (「ビビー」)
- 画面05: 750 lx (「緑」消灯)

ご注意

正しく明るさを設定するために、必ず外光の影響のない夜間などに設定を行ってください。

⑥の目標照度値の設定は、④の照度計の数値以上には設定しないでください。設定した数値と実際使用時の数値とは、異なる場合があります。P30「Q&A」Q5をご参照ください。

また、検知エリアの反射率の変化にともない、数値も変化します。この場合は①より再設定をおすすめします。



アドバイス

設定内容の確認

それぞれの画面で、設定内容を確認します。(コントローラに向けて「確認」ボタンを押す)
コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(P13参照)

③ 初期照度値確認



⑤ 目標照度値確認



自動運転750 lx設定の場合



シーン運転750 lx設定の場合



数値未入力の場合

●現在の照度を確認することができます。(数値はあくまでも目安です。照度計レベルの精度はありません。)

① 「カスタムファンクション」ボタンを押し、「項目」ボタンで画面番号「03」を選択する



② コントローラに向け「確認」ボタンを押す



●照度が2500 lx以内の場合

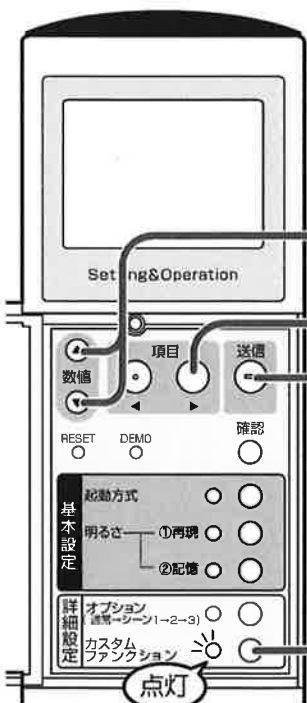


●照度が2500 lx以上の場合



●目標照度値未入力

●P13の起動方式以外の起動方式の設定をおこなう ※起動方式設定後は、明るさ設定(P14~15)をおこなってください。



① 「カスタムファンクション」ボタンを押す LED表示部(緑色)が点灯します。

② 「項目」ボタンを押し、画面番号「02」を選択する

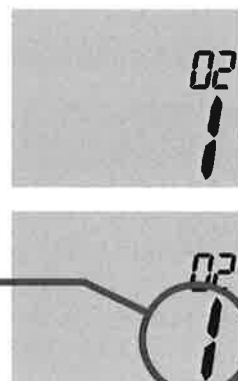
③ 「数値」ボタンを押し、「リモコン設定番号」を選択する

各照明器具の起動方式に合った「リモコン設定番号(下表)」を設定します。

起動方式PEの場合

適合照明器具		リモコン設定番号
起動方式	ランプの種類	
PE	すべて	1
ECH	FLR110形	2
	FRL36・55形	3
	FHT32形	4
PD	すべて	5
LZ	LED照明器具	

④ コントローラに向け「送信」ボタンを押す



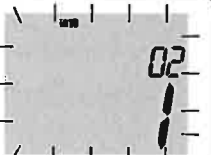
応用設定



アドバイス

コントローラに向け「確認」ボタンを押し、設定内容を確認する

コントローラからの返信を受け、10秒間点滅表示されます。(「Err」表示の場合、P13参照)



起動方式PEの場合

Q&A

Q1. 設定したデータは、停電等でも消えないのですか？

- A 消えません。設定情報は全てコントローラ内の不揮発性メモリに保存されますので、停電時や電源OFFでも半永久的に保持されます。

Q2. センサの寿命はどのくらいですか？

- A 一般の照明器具と同様の8～10年程度のご使用を想定して設計されています。

Q3. 設定が難しそうなので、頼みたいのですが…どこか紹介してもらえますか？

- A 有料となりますが代行設定をおこなっています。詳しくは、施工店または営業所までご相談ください。

Q4. ランプの明るさ（輝度）がバラバラになるのですが…？

- A 異常ではありません。配置設計や施工、明るさ設定が適切に行われていれば、センサからの信号をもとに自動的に明るさ（出力）制御します。外部から光の入る昼間などは、明るさ区分ごとのランプの輝度が異なることに気づくことがありますが、これは適切な省エネ制御を行っているからです。

Q5. 照度計で測定したら、設定したはずの照度と違うのですが…

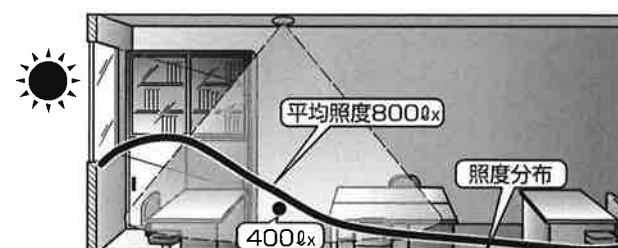
- A 「明るさセンサ」は検知範囲内の反射光を一様に検知して平均化していますので、設定時と測定時との周囲状況（照度の分布状態）の違いによっては、同じ平均照度（800lx）でも測定地点（照度計のある地点：図中の●地点）の照度が異なる場合があります。また、調光動作を必要以上に頻繁に繰り返すのを防ぐために、「明るさセンサ」は設定照度に一定の幅（+5%）をもった制御を行っています。したがって設定した照度は、実際の平均照度とは若干異なる場合があるものとご理解ください。

こんなときは

【設定時】

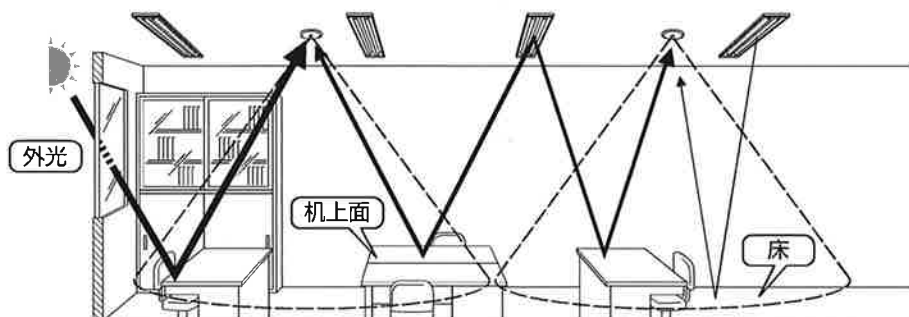


【昼間時】



Q6. 明るさの設定作業はなぜ設置現場ごとにおこなう必要があるのですか？

- A** 「明るさセンサ」は机上面や床からの反射光を検知する方法を採用しています。設置箇所によって下面からの反射光（反射率）が異なるため、設置場所ごとの調整が必要となります。
- また、什器の配置で反射率は大きく左右されますので、レイアウト変更など反射率に影響を与える際にも適正な照度を維持するために再設定をお勧めします。

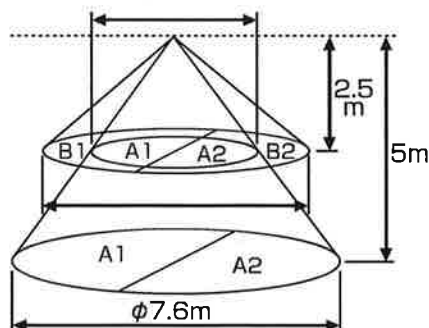
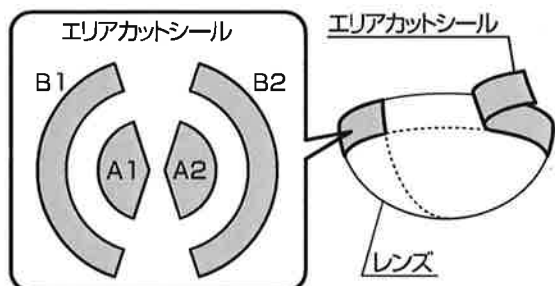


Q7. 外の光で明るくなっているのになかなか変化しません。なぜすぐ変化しないのでしょうか？

- A** 一般的に人間の瞳孔は人工光の変化には非常に敏感です。従って、人の横切り等の一時的な反射率の変化などを緩和させるために、コントローラ内のCPUで平均化制御を行ってなるべく違和感のない人にやさしい制御を行っているためです。

Q8. ひとセンサ付商品で、人がいないのに明るく点灯している場合があります。故障でしょうか？

- A** セルコンシリーズの「ひと検知」には、赤外線の変化量を検知する熱線センサを採用しています。その特性から、太陽の直射光や小動物等の人以外の熱源を感知する場合があります。もし、気になる場合はエアアカットシールを貼る等の対策をご検討ください。



注) レンズにエアアカットシールを貼ることで、検知範囲を限定できます。

注) 検知高さが2.5m以上の場合は、エアアカットシールの「B1」・「B2」をレンズに貼ってください。

注) 検知エリア内でも小さな動きは検知できない場合がありますのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

リモコン操作のこんなとき

現 象	確認項目	処置方法
リモコン操作ができない	調光信号が正しく接続されていますか？	再度、コントローラと照明器具の信号配線が正しく施工されているか確認してください。
	リモコンの電池が消耗していませんか？	ボタンを押して表示が薄くなれば電池を交換してください。(P6)
	操作可能範囲で操作をおこなっていますか？	リモコン操作可能範囲内で操作してください。(P3「リモコン操作可能範囲」参照)
	組合せコントローラが旧型ではありませんか？(P3参照)	別冊「旧型コントローラとの組合せ編」を参照ください。
設定内容、運転状態の確認ができない	リモコンの操作可能範囲内でコントローラに向けて、操作していますか？	リモコンの操作可能範囲内でコントローラに向けて、再度おこなってください。(P3「リモコン操作可能範囲」参照)
リモコン操作が勝手に解除される	コントローラの電源がOFFされ、電源再投入されていませんか？	再度、操作をおこなってください。 ※コントローラの電源が切れると、リモコン操作は解除されてしまいます。
リモコン操作で消灯できない	起動方式が適切に選ばれていますか？	起動方式によっては消灯できないことがあります。 (P8「消灯する」参照)

設定のこんなとき

現 象	確認項目	処置方法				
一部の設定内容(値)が消えている	照明器具の起動方式の再設定がされていませんか？	起動方式を再設定すると、設定値はクリアされ初期値に戻ります。再設定をおこなってください。 (但し、明るさ設定はクリアされません)				
設定した明るさを記憶できない(明るさ設定エラー) <table border="1"><tr><td>LED緑</td><td>LED赤</td></tr><tr><td>消灯</td><td>点灯</td></tr></table>	LED緑	LED赤	消灯	点灯	什器などが配置され、使用状態での反射環境となっていますか？ また、センサの設置面(天井面)の照度が1000lxを超えたり、150lxを下回ったりしていませんか？	設定作業は使用状態での反射環境としてください。それでも、センサ面が明るすぎる場合は、照明出力を下げるかまたは検知エリア内の反射率を小さくしてください。また逆に暗すぎる場合は、照明出力を上げるかまたはエリアの反射率を大きくしてください。
LED緑	LED赤					
消灯	点灯					
リモコンで設定ができない	設定する内容を一度にまとめて設定していませんか？ たとえば、起動方式と明るさの設定は、一度にはできません。	設定する内容の設定は個々におこなってください。一括での設定はできません。 ※一部の設定項目については、一括設定可能です。(P16～23)				

下記の項目にしたがって、お確かめください。

※ご確認の前にコントローラの電源がはいっていることを必ずお確かめください。

コントローラのLEDが表示されている現象項目については、コントローラのLEDの表示もあわせてご確認ください。

現 象	確認項目	処置方法
リモコンで設定ができない (リモコンに「Err」表示が点滅する)	リモコンでスイッチを押してすぐに、他の方向に動かしてませんか？	リモコンは、コントローラにしばらく向けておいてください。 ※リモコンで送受信を行っている場合があります。

「明るさセンサ」による運転のこんなとき

現 象	確認項目	処置方法
照 明 器 具 が 明 る す ぎ る	設定照度が高すぎたり、設定時に比べて、検知エリア内の反射率が小さくなっていませんか？ 外光が入ってくる昼間に明るさの設定をおこなっていませんか？	外光の影響のない夜間などに明るさの再設定をおこなってください。(P14)
	明るさセンサの表面が汚れていませんか？	明るさセンサの汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
照 明 器 具 が 暗 す ぎ る	設定照度が低すぎたり、設定時に比べて、検知エリア内の反射率が大きくなっていませんか？	明るさの再設定をおこなってください。(P14)
	太陽光や他の光源からの光が検知エリア内に入射していませんか？	正常な動作です。
制御エリアごとにランプの輝度に差がある	設定時に比べて、各センサの検知エリア内の反射率が変わっていませんか？	明るさの再設定をおこなってください。(P14)
	昼光入射状態の違いにより調光率に差が出ていませんか？	昼光にあわせて明るさを保つための動作ですので異常ではありません。
明るくなったり暗くなったり ランプの光が安定しない	照明器具の起動方式の設定は、正しくおこなわれていますか？	照明器具の起動方式の設定内容を確認してください。(P12)
制御エリアの照明器具が周りの明るさに応じて調光しない	外部連動端子が短絡されシーン運転になっていませんか？ (FSK90771Z・FSK90781Zを除く)	外部連動端子を開放してください。
	手動操作になっていませんか？	自動ボタンを押して手動操作を解除してください。
	コントローラに外部調光信号が入力されていませんか？	外部からの調光信号をOFFにしてください。
	明るさセンサが「OFF」になっていませんか？	明るさセンサ「ON」に設定してください。(P18)

LED緑 LED赤
点灯 消灯

LED緑 LED赤
点滅 消灯

LED緑 LED赤
点灯 消灯

こんなときは

次ページへつづく

故障かな?と思ったら(っづき)

100%点灯状態のまま	LED緑 LED赤 消灯 点灯 	調光信号線は、正しく接続されていますか?	調光信号線を正しく接続してください。
		明るさ設定を正しくおこなっていますか?	明るさの再設定をおこなってください。(P14)
		照明器具の接続台数を超えていませんか?	接続可能台数を越えないようにしてください。
調光状態のまま		調光出力が下限になっていて、これ以上調光できない状態になっていませんか?	正常な動作です。
	調光範囲(下限)を0%に設定しているのに、昼光と連動して照明器具が消灯しない	—	正常な動作です。昼光連動による消灯はできません。

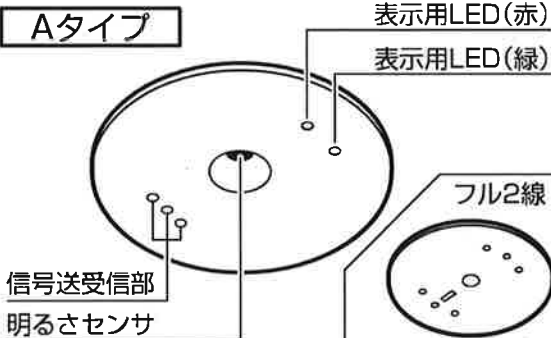
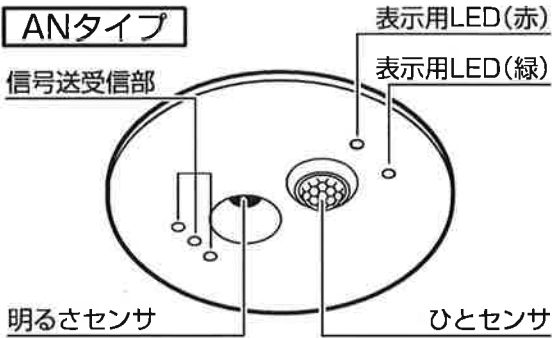
「ひとセンサ」(ANタイプのみ)による運転のこんなとき

現象	確認項目	処置方法
ひとがいるのに調光する	ひとの動きが小さい時、「ひとセンサ」が検知できないことがあります。	点灯保持時間の設定を長めに設定してください。(P19・23)
	ひととコントローラの間に遮へい物がありますか?	遮へい物を取り除いて使用してください。
	「ひとセンサ」が汚れ、検知感度が低下していませんか?	「ひとセンサ」の汚れを拭き取ってください。(P36)
	周囲温度が高く、検知感度が低下していませんか?	点灯保持時間の設定を長めに設定してください。(P19・23)
ひとがいないのに明るく点灯している	・太陽光など強い光が急に射し込んでいませんか? ・空調気流が「ひとセンサ」にあたっていないですか? ・検知範囲内でブラインド、カーテンなどの動きや他の熱源がありませんか?	現象がたび重なり気になる場合は原因を取り除いてください。または、遮へい等の対策をおこなってください。
	「ひとセンサ」がOFFになっていませんか?	「ひとセンサ」をONにしてください。(P19・23)
ERR状態でないのに赤LEDが点灯している	「ひと検知モニタ」がONになっていませんか?	正常な動作です。気になる場合は「ひとセンサ」の検知モニタをOFFにしてください。(P25)

こんなときは

コントローラの仕様

●LED表示について

外 観 図	明るさセンサ 連続調光			ひと明るさセンサ 連続調光		
	Aタイプ			ANタイプ		
						
	LED緑	LED赤	状態	LED緑	LED赤	状態
ERR状態	—	点灯	明るさ設定の不具合、信号出力線の短絡、過負荷	—	点灯	明るさ設定の不具合、信号出力線の短絡、過負荷
自動運転	消灯	消灯	自動運転中	消灯	消灯※	自動運転中
その他の運	点灯	消灯	当社製外部コントローラによる手動調光運転・シーン運転(FSK90771Z除く)	点灯	消灯※	当社製外部コントローラによる手動調光運転・シーン運転(FSK90781Z除く)
	点滅	消灯	リモコン操作(手動操作・消灯・シーン再生)	点滅	消灯※	リモコン操作(手動操作・消灯・シーン再生)
設定中	消灯	点滅	明るさ設定モード中	消灯	点滅	明るさ設定モード中

※ひと検知モニター設定「ON」の場合、ひと検知時に「赤」LEDが点灯します。

●受信音について

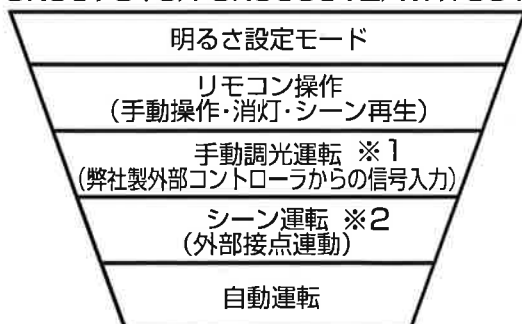


ピッ	リモコンの信号を受信したときに鳴ります。	ピーピー	正しく設定された場合に鳴ります。
ピー	リモコン信号に対して返信するときに鳴ります。	ピーピーピー	「Err」表示、「Err」メッセージが表示されたときに鳴ります。
※上記のブザー音は、「送信」と「確認」ボタンを押したとき、連続して鳴ります。		ピーピー	設定不具合の場合に鳴ります。

●動作の優先順位について

コントローラの外部より信号入力があった場合は、次のような優先順位にしたがって動作しますので、リモコン操作がきかない場合もあります。

FSK90721Z/FSK90521K
FSK90731C/FSK90531Z/WRT3617



高

優先順位

低

FSK90771Z/FSK90781Z



その他のお知らせ

※1)インバータライコンなどの弊社製外部コントローラからの信号入力で手動調光運転が可能です。

※2)弊社製外部接点との連動によりシーン運転が可能です。

各起動方式の調光範囲について

起動方式	調光範囲
PX	0%、25～100%
PY (FHF86) EYH	0%、40～100%
PY (FHP32)	0%、50～100%
WX	0%、25～75%
LH・LX・LY	0%、25～85%
LR	0%、5～100%

起動方式	調光範囲
LZ	0%、5～100%
LT	0%、25～100%
LA	0%、10～100%
PD	0%、5～100%
PUX	0%、25～70%

- ※器具形態によって表示される調光最下限まで使用できない器具もありますので、予めご了承ください。
- ※自動運転時(またはシーン運転時)には、照明器具の調光下限を0%に設定しても、昼光と連動して照明器具を消灯させることはできません(調光下限の明るさになります)。ただし、ひとセンサと連動して人不在時に消灯させることは可能です。
- ※一部のLED器具と組み合わせて使用すると、消灯シーンでも薄暗く発光する場合があります。予めご了承ください。

お手入れについて

コントローラは適切な制御を保つために、センサ面の汚れを定期的に中性洗剤等を使いやさわらかい布等で拭きとってください。また、リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を抜き、直射日光のあたらない場所で保管してください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709 (フリーコール) 0120-872-460 (FAX)